

# 豊友

第155号

[www.bussei.gr.jp](http://www.bussei.gr.jp)

題字 加藤精一 猥下



## 聞・思・修

（お大師さまとともに）

全真言宗青年連盟

第36回結集讃岐大会

真言宗豊山派仏教青年会  
第43回全国結集愛媛大会



# 聞思修

お大師さまとともに



寒さが一段と厳しくなってきた12月3日・4日、真言宗豊山派仏教青年会第43回全国結集愛媛大会が「聞・思・修」お大師さまとともに」という大会テーマの下に開催された。

1日目は開会式の後、四国八十八箇所霊場第46番浄瑠璃寺から歩き遍路を実施。移動のバスの中で愛媛仏青作成の「衛門三郎」が上映され、遍路への思いを馳せた。浄瑠璃寺では特別に「本尊さまの目の前まで行き拝観することができた。」

第47番八坂寺では全員が火渡りを体験した。この頃から風が強くなり、降り出した霧雨はみぞれになり、次の西林寺までの約5キロの道のりは、まさに修行の一言であった。そんな天候の中でも、歩き遍路をしている私たちに合掌をしてくれる方々がいた。

今回の結集、第48番西林寺に到着後、愛媛支所仏教婦人会の皆様よりいただいたお接待、特に豚汁は私たちの凍えた体だけでなく、心も温めてくれた。

レセプションの中で、別バージョンの「衛門三郎」の放映や、愛媛仏青太鼓隊の迫力溢れる演奏は、レセプションに華を添えた。

2日目は愛媛仏青50周年記念事業として作成・開眼した愛媛支所81箇所のお砂ふみ本尊披露、法楽の後、デイスカッションが始まった。

コーディネーターとして愛媛支所布教長佐伯真範僧正が、パネラーとして総合研究院宗学研究所舎奈田智宏研究員、事相研究所三津田辨範研究員、現代教化研究所

守祐順常勤研究員、布教研究所田中宥弘研究員が登壇し、「葬式仏教」をキーワードに各々意見を述べられた。

パネラーの私見、資料をもとに各テーブルでのデイスカッション、その後テーブルの代表によりデイスカッションの内容の発表があった。話足りないと言った参加者が多く見られるほど盛況のうちに、パネルデイスカッションは幕を閉じた。

佐伯コーディネーターと4名のパネラーには一番伝えなかったことを、愛媛仏青の森脇有海氏にはデイスカッション運営担当者としての思いをお書きいただきました。また参加者に回答いただいたアンケートの一部結果を掲載します。今後の仏青活動などの参考になれば幸いです。



## 第43回全国結集愛媛大会運営部長

森脇有海

まずはご参加くださいました方々、ご支援くださいました各方面の方々に御礼を申し上げます。今回特に心掛けたことは、テーマと企画に関連性を持たせること、成果を残すこと、既成の結集概念に囚われないこと等でした。

デイスカッションも新しい試みでしたが、とても大勢の方に参加いただけたため、色々想定し運営方法を練って臨んだことは、取り越し苦労であったり、逆に円滑な議論を妨げたとも思います。運営委員としては申し訳なくも、嬉しい悲鳴でした。議論をもっと続けたかったとの声で、何とかが第点は戴けたのかと思います。

諸々の至らなかつた点は、次回以降の結集で、是非活かしていただきたいと思ひます。



司会・コーディネーター 佐伯 真範

葬式仏教と否定的に揶揄されてきた中、大部分の寺院が、葬式による布施収入無しで寺院を維持運営できないのも事実である。それならば、我々は自信を持って、かつ權

信徒や特に喪主親族に納得していただけるような葬儀を行う必要がある。その為には何が必要なのか、どんな工夫や努力をすべきか、それぞれに考えてほしいと思う。その上で、葬式だけじゃない仏教にもむけての一步を踏み出していきたいと思う。



宗学研究所研究員 舎奈田智宏

葬式仏教とは何か、分かっているつもりで意外と分かっていないことだったりします。今回の役目はこの葬式仏教とは何かを、さらにここ数年間の傾向についても皆さんに理解と確認をしていただくことが役割でした。我々僧侶の日頃行っていることが、そのまま評価にも批判にもなるということ、そして最近の傾向として葬式仏教批判よりも、寺院の経営難に問題の焦点が当てられていることが、少しでもご理解いただけたなら幸いです。



## 事相研究所研究員 三津田辨範

皆さんに議論していただきたかったのは、引導作法と戒名についてです。真言宗の葬儀の肝要は引導作法です。時間や場所の制限がある中で、いかに引導作法を修するか、先師の口訣を紹介させて頂きました。また、引導や戒名の意味をお檀家さんに知らしめることも重要だと思います。是非、その様な機会を作っていただきたいと思ひます。

今回のデイスカッションが、葬儀の形態や死生観が変化の中で、我々が大切にすべき事を考える一助になれば幸いです。



現代教化研究所常任研究員 守祐順

葬式仏教を考える場合には、ふたつの視点が必要です。ひとつめは「より良い葬儀」。戒名や諷誦文から住職が故人の為に特別な準備をしてくれたと感じられること、しっかりした読経や作法による伝統的ゆえの安心感、このバランスが大切です。

もうひとつの視点は「葬儀以外の活

動」です。これは僧侶によって違つてよいので、実際に活動することが何より大切になってきます。具体的な案に至つてもらうための資料を提供しました。



布教研究所研究員 田中宥弘

「葬式仏教」の捉え方は、地域差や寺院規模の大小でも変わってくるのが現実でしょう。その中で変わらないのは「僧侶がいる」ことです。現状で何が出来るのかはもちろんのこと、その前段階として、僧侶自身の立ち振る舞いに改善の余地はないのが、考えていただきたいことでした。

今一度、置かれている環境ではなく、自身を見つめ直すことができれば、これからはささえる青年僧侶の糧となるのではないのでしょうか。







## 愛媛結集アンケート

1.大会テーマ「聞思修～お大師さまとともに～」に則った企画だったと思いますか？

①歩き遍路について	そう思う	まあそう思う	普通	あまり思わない	思わない
	43	5	0	1	0

②ディスカッションについて	そう思う	まあそう思う	普通	あまり思わない	思わない
	37	8	2	2	0

2.歩き遍路について	①企画としてよかったですか？	そう思う	まあそう思う	普通	あまり思わない	思わない
		35	10	1	0	1

②何か感じたことや明日からの活動で意識しようと思ったことなどあればお聞かせください。

- ・自然の中、山々を望みながらお遍路をさせていただき、最後にお接待を受けてとても有難く、人々の心の温かさを感じた。
- ・普段歩いている道は何かあり、どのような景色であるかを意識したいと思う。
- ・四国遍路の団参を計画したいと思った。

③歩き遍路の企画について何でも感想をお聞かせください。

- ・柴燈護摩はあまり経験することがないので、貴重な体験ができた。
- ・火渡りがよかった。
- ・お接待とても感動しました。お遍路やってみようかなと思いました。
- ・悪天候ではありませんでしたが、歩き遍路ができてよかったと思う。
- ・皆が好き勝手歩いていたのでもう少し整列して歩けばよかったと感じた。
- ・もう少し各寺院の話聞きたかったです。特に礼始めの話はお寺で聞きたかった。
- ・天気もあり、私は余裕もなかったので良いイメージになりませんでした。

3.ディスカッションについて	①企画としてよかったですか？	そう思う	まあそう思う	普通	あまり思わない	思わない
		40	7	4	0	0

②何か感じることや明日からの活動で意識しようと思うことなどありましたか？	たくさんあった	少しあった	ほとんどなかった	なかった
	32	18	1	0

③ディスカッションの企画について何でも感想をお聞かせください。

- ・自分自身で考えるという時間が多く、この会に参加していると強く感じる事ができた。
- ・今の時代に合ったものだと思う。ただ、結論や特効薬がない話なので、継続して議論する場が欲しい。
- ・聞くだけでなく、意見を出し合って考えをまとめることでより良いものが生まれてくる可能性を感じた。
- ・1日目の集中力があるときにディスカッションして見たかった。
- ・両日ともにディスカッションだと夜も盛り上がり、翌日も人が減らないのかも。
- ・テーマが大きすぎるので、もう少し絞って欲しい。
- ・事前に資料をいただいて考えをまとめて参加したかった。
- ・時間が足りなかった(8名)

4.大会全体の評価	よかった	まあよかった	普通	あまりよくなかった	よくなかった
	42	8	1	0	0

5.改善すべき点や、その他について何でもご記入ください。

- ・スタッフの人が多かったと思いますので、スムーズな運営ができた方が参加者にはよかったですと思います。
- ・ディスカッションのグループごとの話し合いの時間がもう少しあるとよかったです。
- ・休憩を挟んでの、もっと長い時間でのディスカッションであれば最高でした。
- ・「攻め」の姿勢を感じる楽しい結集でした。
- ・事務局の皆様の本気が強く感じられた結集でした。深く深く感謝申し上げます。
- ・準備を含め御苦労があったと思います。お疲れ様でした。

## 真言宗豊山派仏教青年会 第三十代会長退任挨拶



真言宗豊山派仏教青年会第三十代会長 根本 聖道

平素より豊山仏青の活動に多大なるご理解ご協力を賜りまして、衷心より御礼申し上げます。

さて、本年3月末日を以て第三十代豊山仏青会長としての任期満了を迎えさせていただきます。任期中には宗派ご重役並びに宗内外諸大徳、関係各位より賜りましたご教示ご鞭撻の程、心より感謝申し上げます。

振り返りますと、因らざるも会長の任をお受けしました当初、東日本大震災の甚大な被害に加えて、放射能漏れなどによる風評被害を含む2次・3次被害が広がっておりました。収束を見ない状況であるにもかかわらず、発生より数年が経過したことによって震災の記憶が風化しつつある状況にあり、とりわけ、復興に向けての更なる支援事業を展開、継続していくことが望まれました。

幸いなことに、前任であります花園昌道会長からの継続事業として、「復幸〜お大師さまとともに〜」と題し、復興への継続的支援の必要性を訴え、被災された皆様の笑顔が見られるよう祈念するチャリティーコンサートを

開催するに至りました。公演に際しては、檀信徒を中心に4000名以上のご来場と、宗内寺院各位より多大なるご協賛ご寄付を頂戴し、被災東北3県へ合計2000万円を超す義援金をお届けする事が出来ました。

これは多くの先輩諸師にお見守りいただきながら、準備に力を尽くした多くの会員の努力や忍耐の賜物であります。メディアにおいて多くの僧侶が出演するほか、御朱印や寺社がパワースポットとして取り上げられるなど、今、社会から大きな注目が注がれている結果であるとも思えます。

そうした中で、宗祖弘法大師への信仰は篤く、四国八ヶ所霊場開創1200年を迎えた四国(愛媛県松山市)にて開催しました豊山仏青第43全国結集においては、大会テーマを「聞思修」と掲げ、これまで多かつた講演形式から参加者同士でのディスカッション形式を取り入れられました。地元愛媛仏青で組織された実行委員会の素晴らしい大会運営により、会員同士で語られた仏教界に対する諸問題の思いや考えは、新しい成長への手がかりをつかむ一助になったことと存じます。

通年事業といいたしましても、写仏講座・ホームページ運営・豊山太鼓「千響」の活動など、会員の皆様のご理解とご協力がなければ成し得ませんでした。任期中、やり遂げたことは少ないですが、支えて下さいました執行部役員や理事・会員の皆様と、このような多くの事業に参画出来ましたことは、巡り合わせとはいえ、非常に幸運であったと考えております。

豊山仏青はお大師さまのみ教えのもと、個別の利害を超えて、仏教精神の高揚と実践を共に行動する場であり、ます。今後も積極的なご参加とご尽力をお願い致します。最後になりましたが、ご支援に心より感謝申し上げますとともに、豊山仏青とその会員皆様方ますますのご発展をご祈念申し上げます。





# 全真言宗青年連盟 第36回結集讃岐大会

於 真言宗善通寺派総本山善通寺・高松国際ホテル

平成27年11月10日・11日、真言宗善通寺派総本山善通寺、高松国際ホテルにて全真言宗青年連盟第36回結集讃岐大会が開催された。

1日目は真言宗善通寺派総本山善通寺にて開会式、法会を行われた。遍照閣の開会式後、御影堂にて十八本山掛け軸法要、結集記念法要がそれぞれ厳修された。お大師さま御生誕の地にて、200名を超える青年僧で唱える声明、理趣経は少し

ずつ唱え方が異なる部分もあるが、力強い響きは圧巻であり、ひとつにまとまれるすばらしさを再認識できた。

2日目は真言宗善通寺派管長・総本山善通寺第五十七世法主大僧正櫻原禪澄宛下は「仏教は難しいというけれど」の題で、NHK大相撲解説者やスポーツキャスターなどで活躍の近畿大学経営学部客員教授の舞の海秀平先生は「決してあきらめない」の題で、それぞれのご講演が

あった。舞の海秀平先生は有名な新弟子検査から現役を退いた現在までに至った。特に相撲・稽古に対する思いや怪我を乗り越えた話は、住む世界が異なるが我々にも通じるところを感じた。

2日間を通し、お大師さまの御誕生の地において研鑽を積み、これからの青年僧の役割を再び考える機会となった。



## 平成二十七年年度

## 豊山仏青災害救援基金御芳名

ここに協力いただきました御寺院名を掲載し、各位に心より厚く御礼申し上げます。

東京 1	1	護国寺	東京 2	2	千手院	東京 3	3	三念寺	東京 4	4	根生院	東京 5	5	金乗院	東京 6	6	西光寺	東京 7	7	観明寺	東京 8	8	文殊院	東京 9	9	延命寺	東京 10	10	長延寺	東京 11	11	長延寺	東京 12	12	長延寺	東京 13	13	長延寺	東京 14	14	長延寺	東京 15	15	長延寺	東京 16	16	長延寺	東京 17	17	長延寺	東京 18	18	長延寺	東京 19	19	長延寺	東京 20	20	長延寺	東京 21	21	長延寺	東京 22	22	長延寺	東京 23	23	長延寺	東京 24	24	長延寺	東京 25	25	長延寺	東京 26	26	長延寺	東京 27	27	長延寺	東京 28	28	長延寺	東京 29	29	長延寺	東京 30	30	長延寺	東京 31	31	長延寺	東京 32	32	長延寺	東京 33	33	長延寺	東京 34	34	長延寺	東京 35	35	長延寺	東京 36	36	長延寺	東京 37	37	長延寺	東京 38	38	長延寺	東京 39	39	長延寺	東京 40	40	長延寺	東京 41	41	長延寺	東京 42	42	長延寺	東京 43	43	長延寺	東京 44	44	長延寺	東京 45	45	長延寺	東京 46	46	長延寺	東京 47	47	長延寺	東京 48	48	長延寺	東京 49	49	長延寺	東京 50	50	長延寺	東京 51	51	長延寺	東京 52	52	長延寺	東京 53	53	長延寺	東京 54	54	長延寺	東京 55	55	長延寺	東京 56	56	長延寺	東京 57	57	長延寺	東京 58	58	長延寺	東京 59	59	長延寺	東京 60	60	長延寺	東京 61	61	長延寺	東京 62	62	長延寺	東京 63	63	長延寺	東京 64	64	長延寺	東京 65	65	長延寺	東京 66	66	長延寺	東京 67	67	長延寺	東京 68	68	長延寺	東京 69	69	長延寺	東京 70	70	長延寺	東京 71	71	長延寺	東京 72	72	長延寺	東京 73	73	長延寺	東京 74	74	長延寺	東京 75	75	長延寺	東京 76	76	長延寺	東京 77	77	長延寺	東京 78	78	長延寺	東京 79	79	長延寺	東京 80	80	長延寺	東京 81	81	長延寺	東京 82	82	長延寺	東京 83	83	長延寺	東京 84	84	長延寺	東京 85	85	長延寺	東京 86	86	長延寺	東京 87	87	長延寺	東京 88	88	長延寺	東京 89	89	長延寺	東京 90	90	長延寺	東京 91	91	長延寺	東京 92	92	長延寺	東京 93	93	長延寺	東京 94	94	長延寺	東京 95	95	長延寺	東京 96	96	長延寺	東京 97	97	長延寺	東京 98	98	長延寺	東京 99	99	長延寺	東京 100	100	長延寺
------	---	-----	------	---	-----	------	---	-----	------	---	-----	------	---	-----	------	---	-----	------	---	-----	------	---	-----	------	---	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	--------	-----	-----



## 写仏講座

豊山仏青では写仏講座を行っております。興味のある檀信徒さまがいらつしやいましたら、是非ご案内ください。

平成28年

5月13日(金)

6月10日(金)

9月9日(金)

10月14日(金)

11月11日(金)

12月9日(金)

午後1時より宗務所にて

詳細につきましては豊山仏青ホームページをご覧ください。

また豊山仏青ホームページ、写仏講座中の「写仏を体験してみよう」では、体験コーナーをご用意しております。なぞってみたり、お子さまの塗り絵としても、ご利用ください。



## 編集後記

今号で2年間の担当が終わります。

「2年間、豊友を担当してどうでしたか？」と聞かれたら、まず、「1年で2号発行でいいんじゃないですか(笑)」と答えます。

続けて「自分では変えたつもりでいるけど、開けられずに捨てられているのかなとかよく思います」と。

だけど、これからの豊山仏青を担う新入生を表紙にしちやったり、福島の実情や各仏青の活動を掲載できたのは良かったなと思っております。

ご多用の中、快く執筆、写真の提供、ご意見を頂戴できて、また多くの方に支えられ、おかげさまで2年間の編集担当というお役を終わることができました。ありがとうございました。引き続き豊友をよろしくご愛用いたします。

青木 宏憲

写仏講座・千響チャリティー演奏は

豊山仏青

検索



Facebookページ

[www.facebook.com/buzanbussei](http://www.facebook.com/buzanbussei)



## 豊友155号

平成28年5月11日 発行

発行人 根本聖道

発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40番8号  
真言宗豊山派総合庁舎内 真言宗豊山派仏教青年会

制作 マエゾノデザイン

豊友お問い合わせ先

[info@bussei.gr.jp](mailto:info@bussei.gr.jp)